

**令和6年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会  
作業技術研究会（夏期）開催要領**

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長  
農研機構東北農業研究センター  
水田輪作研究領域長 長谷川啓哉

**1. 趣 旨**

一層の省力化のためにスマート農業の推進が求められている一方で、近年問題となってきた気候変動をはじめとする多様化する環境に対してもスマート技術の導入により効果的な対策を講じることが求められる。そこで、本研究会では、想定される多様化する環境に関する情報や、東北地方の多様な状況に対応するスマート農業技術の適用条件、導入条件について、各県での取り組みや現地導入事例に基づき、整理することで、実際にスマート技術を実用する際に有用となる情報を共有することを主眼とする。

**2. 開催日時** 令和6年8月21日（水） 14：00 ～ 17：00  
8月22日（木） 8：30 ～ 12：00

**3. 開催場所**

- 1) 合同シンポジウム（農業食料工学会東北支部との合同開催）・検討会：農研機構 東北農業研究センター 研究H棟2階大会議室（岩手県盛岡市下厨川字赤平4）
- 2) 見学会：金田一宮農組合（岩手県二戸市金田一）、岩手県農業研究センター県北農業研究所（岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1）

**4. 日 程**

- 1) 合同シンポジウム（8月21日14:00～15:50）  
テーマ：「多様化する環境に対応するスマート農業技術の現状と課題」  
(1) 気候変動と農業 ～近年の高温と水稻での対策例を中心に  
農研機構東北農業研究センター 大久保さゆり  
(2) 岩手県におけるスマート農業推進の取り組み  
岩手県農林水産部農業普及技術課 宮川 英幸  
(3) 多様な環境に対応するスマート農業技術に関する取り組み(仮題)  
ヤンマーアグリジャパン株式会社 阿部 茂
- 2) 検討会（8月21日16:00～17:00）  
(1) 夏期研究会テーマに係る各県の現状と課題および外部資金獲得に向けた課題提案等  
(2) 令和6年度作業技術研究会（冬期）重点検討事項、ほか
- 3) 見学会（8月22日8:30～12:00）  
(1) 金田一宮農組合  
(2) 岩手県農業研究センター県北農業研究所

**5. 参集範囲**

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、農林水産省、大学、県行政部局・県普及部局の関係者、その他推進部会長が必要と認める者

**6. 連絡先**

農研機構東北農業研究センター 農業放射線研究センター 金井源太  
〒960-2156 福島県福島市荒井字原宿南50  
TEL：024-593-6175 FAX：024-593-2155 E-mail：kanaigen@affrc.go.jp

**7. その他** 研究会の運営、資料提出等の詳細については、別途事務連絡する。